



初代 旭 憲吉 教授

明治39年(1906)10月～昭和5年(1930)1月

- 明治7年(1874)1月14日 京都府にて出生
明治32年(1899)12月 東京帝国大学医学科卒業
明治33年(1900)2月 東京帝国大学医科大学助手
(皮膚病学黴毒学教室)
明治36年(1903)5月 3カ年のドイツ留学を命ぜられる
明治36年(1903)12月 京都帝国大学福岡医科大学助教授
(在独のまま)
明治39年(1906)10月 京都帝国大学福岡医科大学教授
(皮膚病学黴毒学講座)
明治39年(1906)11月 診療・講義を開始
大正8年(1919)1月 九州帝国大学医科大学附属病院長
(任期2年)
昭和3年(1928) 日本皮膚科学会会頭(死去まで)
昭和5年(1930)1月22日 逝去(56歳)

官位：従三位(昭5) 叙勲：勲二等瑞宝章(昭2)



初代教授

旭 憲吉(あさひ けんきち)先生 明治39(1906)年10月-昭和5(1930)年1月



- 脱毛症の治療薬である玄華や当時原因が不明とされた線状皮膚炎の研究。進行性対側性紅斑性角皮症(旭一井尻)などの記載。



仏教青年会

○ 明治 40 (1907)年5月19日
京都帝国大学福岡医科大学仏教青年会設立
初代会長に、旭 憲吉教授が就任。



拔苦与楽

